

2023年3月期 第1四半期決算の概要

AIAI

AIAIグループ株式会社

証券コード：6557



AIAI NURSERY 大崎
(東京都品川区)



AIAI NURSERY 大泉学園
(東京都練馬区)



AIAI NURSERY 第二東池袋
(東京都豊島区)



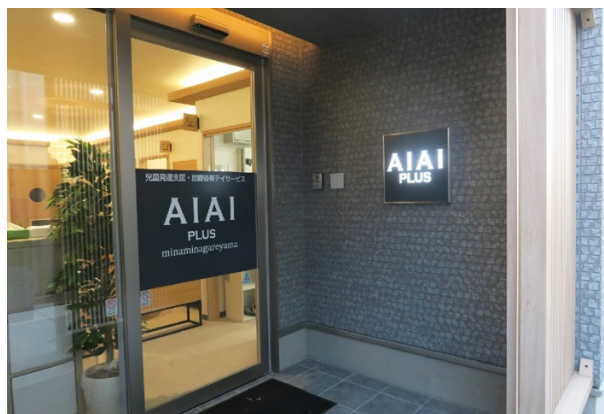
AIAI NURSERY 高柳
(千葉県柏市)



AIAI NURSERY 南流山
(千葉県流山市)



AIAI PLUS 稲毛海岸駅南口
(千葉県千葉市)



AIAI PLUS 南流山
(千葉県流山市)



AIAI PLUS 船橋駅北口
(千葉県船橋市)



AIAI PLUS 村上駅前
(千葉県八千代市)



AIAI PLUS 八千代台駅西口
(千葉県八千代市)

施設数・売上高の推移

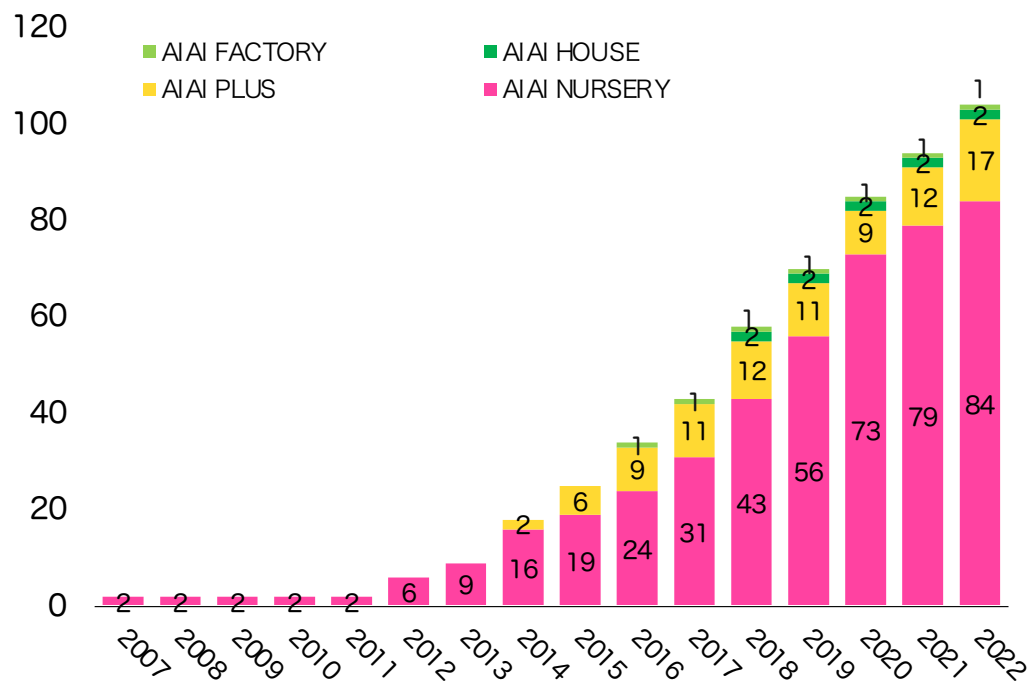
AIAI

©AIAI Group Corporation

施設数の増加とともに売上高も増加が継続。2022年6月末時点のグループ施設数は計104施設。

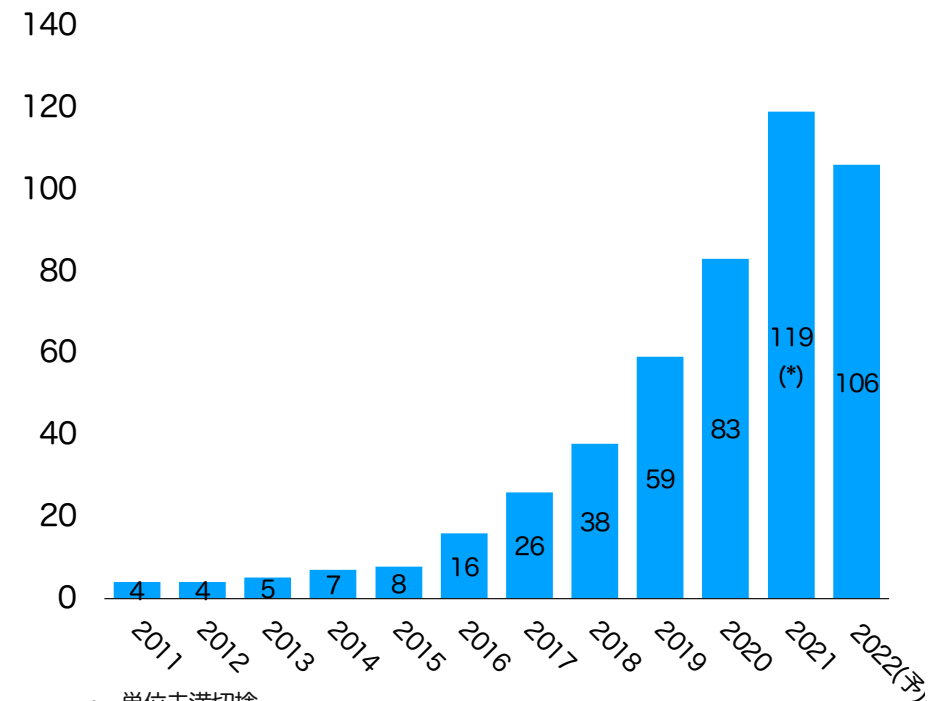
施設数

(施設)



売上高

(億円)



- 単位未満切捨
- 2021年度は、2022年1月～2022年6月の15ヶ月変則決算

第1四半期 業績の概要（損益計算書）

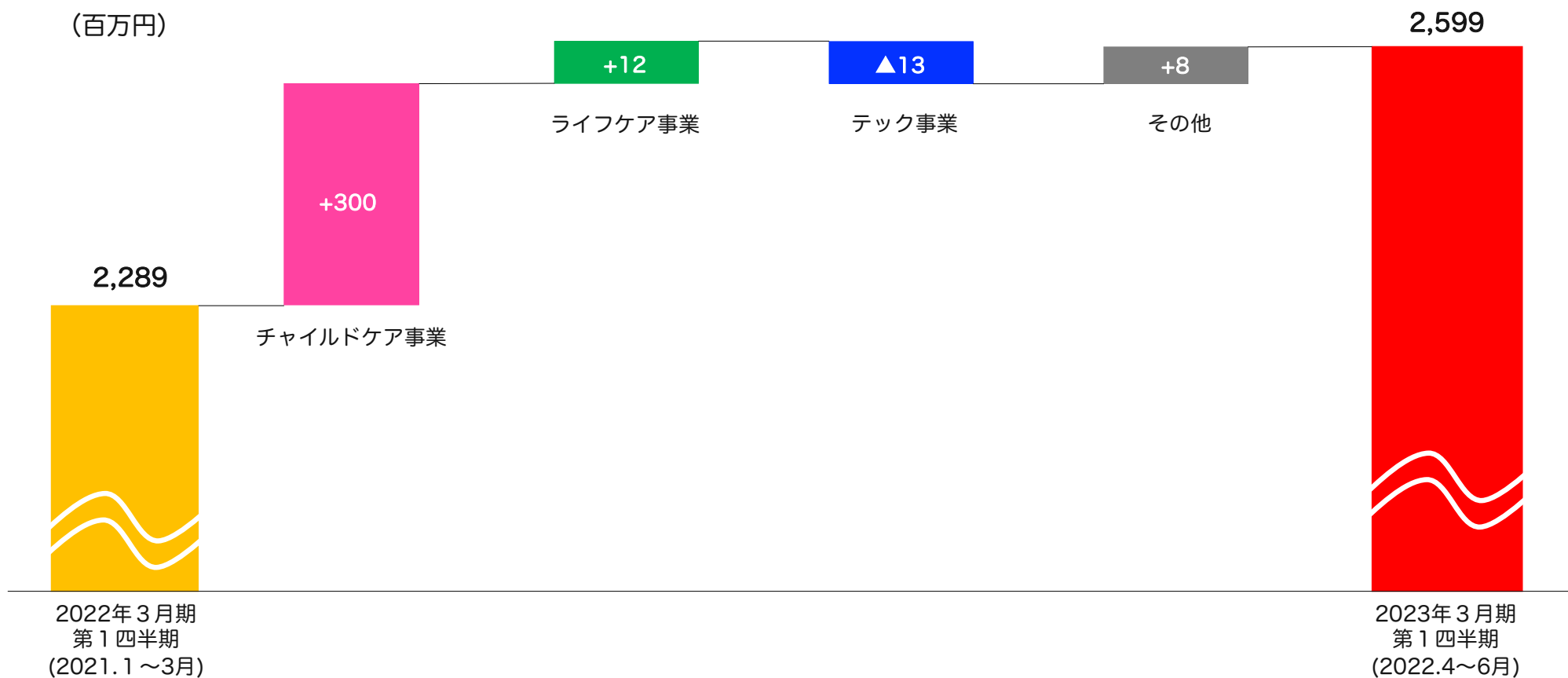
決算期の変更に伴い、対前期比較対象期間は2022年3月期第1四半期（2021年1月～3月）。
 チャイルドケア事業における新規開園に伴う関連費用やライフケア事業の採用費など一過性の費用の発生のほか
 テック事業における先行費用等もあり 営業損益は▲319百万円

(百万円)	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期
売上高	2,289	2,599
売上総利益	259	38
営業損益	▲128	▲319
経常利益	▲128	▲337
当期純利益	▲74	▲268

- 単位未満切捨、小数点第2位四捨五入
- 2022年3月期は、2022年1月～2022年月の15ヶ月変則決算

売上高の推移

テック事業において、前期（1～3月）と当期（4～6月）の季節性の差異による減少はあったもののAIAI NURSERY（認可保育）やAIAI PLUS（障害児ケア施設）の新規開設数の増加に伴う利用者数の増加やライフケア事業の施設入居率向上等によりグループ連結売上高は増加

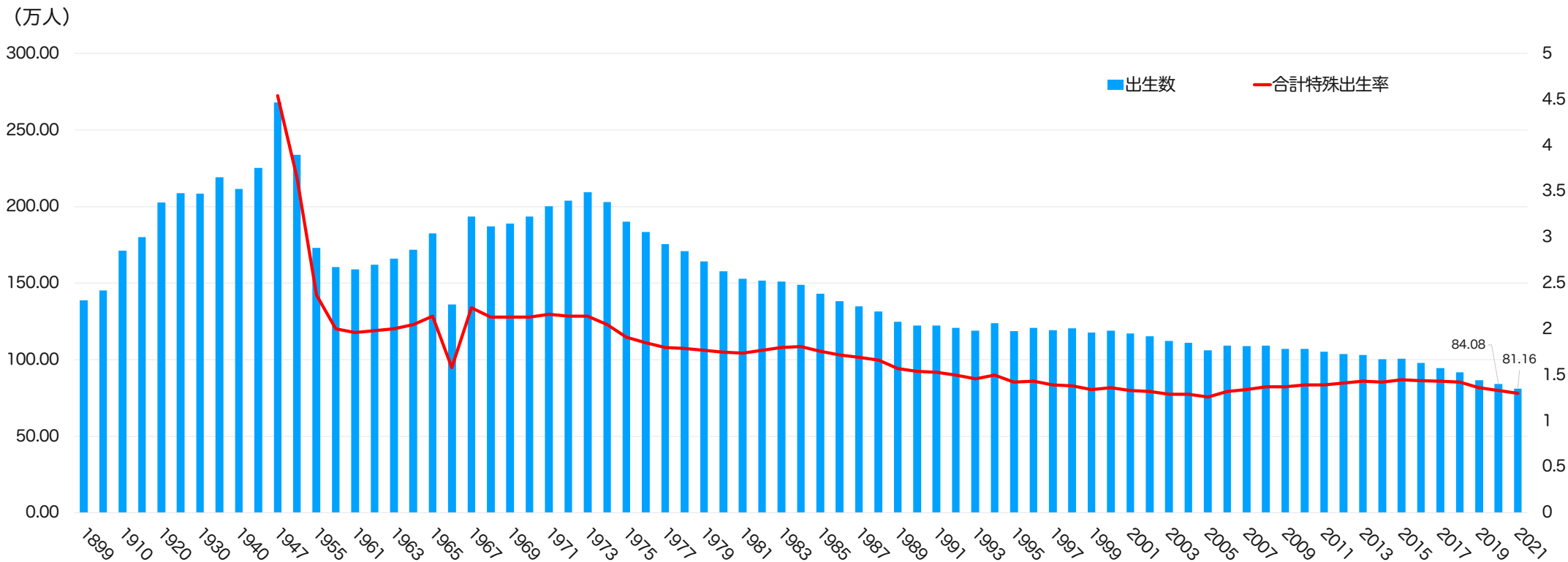


AIAI NURSERYの概況 出生数等の推移

2021年の出生数は 81万1,604人となり前年の84万835人より▲2万9,231人減少
合計特殊出生率は1.30となり 前年の1.33より低下するなど 出生数の減少傾向は継続

国内の出生数・合計特殊出生率の推移

* 厚生労働省「令和3年版厚生労働白書」及び「令和3年(2021)人口動態統計月報年計(概数)の概況」より作成

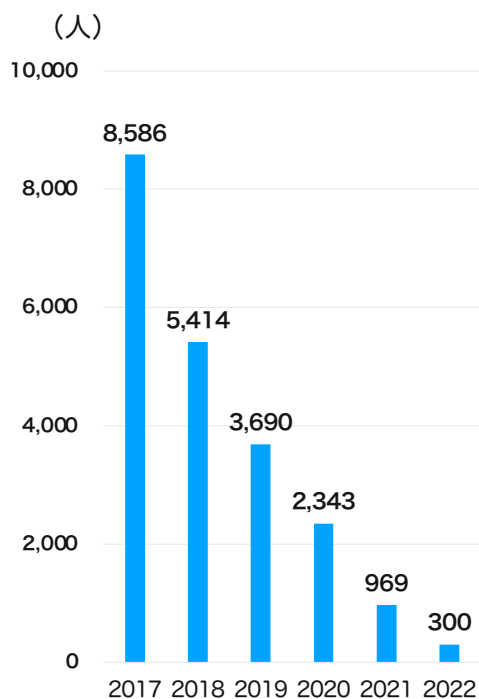


AIAI NURSERYの概況 主要展開エリアの待機児童の状況

AIAI NURSERYが展開する 東京都、千葉県、大阪府（大阪市）及び神奈川県（川崎市）の待機児童数はいずれも減少傾向
特に待機児童数が顕著であった東京都においても2022年4月1日では300人にまで減少

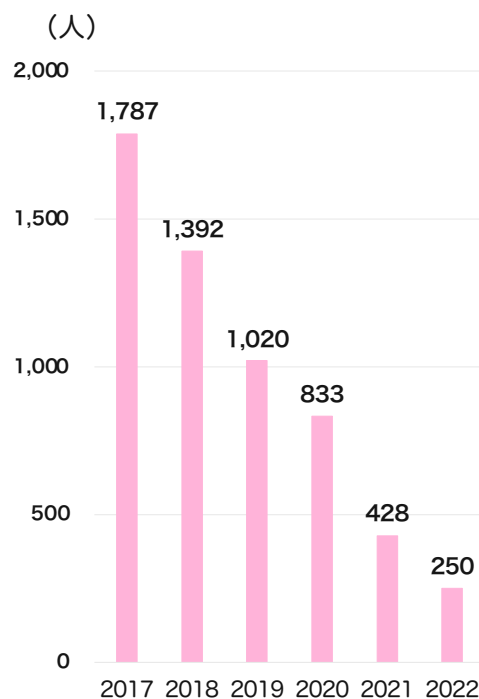
(各年4月1日時点)

東京都



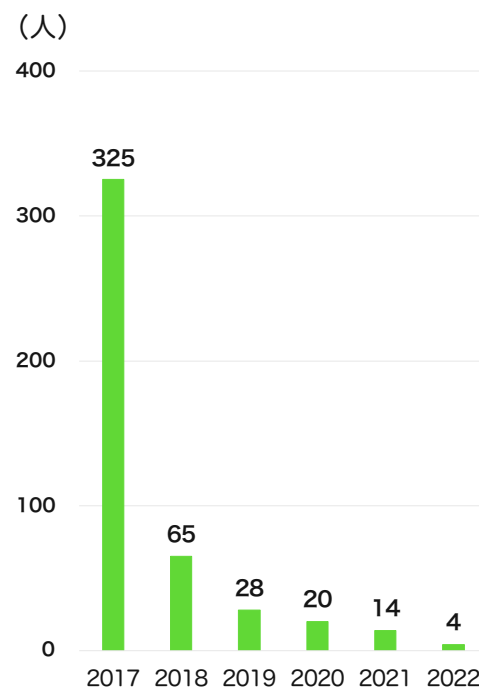
*東京都「都内の保育サービスの状況について」(2022年7月27日)

千葉県



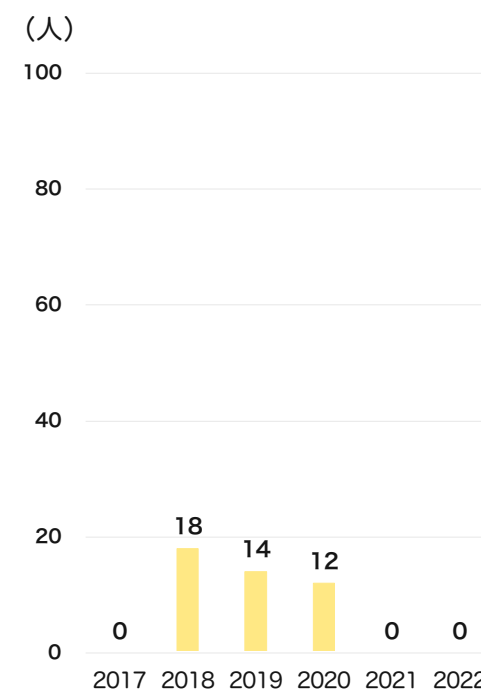
*千葉県「保育所等利用待機児童数及び利用定員数について(令和4年4月1日現在)」
(2022年8月2日)

大阪市



*大阪市「大阪市の保育所等利用待機児童数について(令和4年4月1日現在・速報値)」
(2022年5月17日)

川崎市



*川崎市「認可保育所の入所・待機児童数」(2022年5月11日)

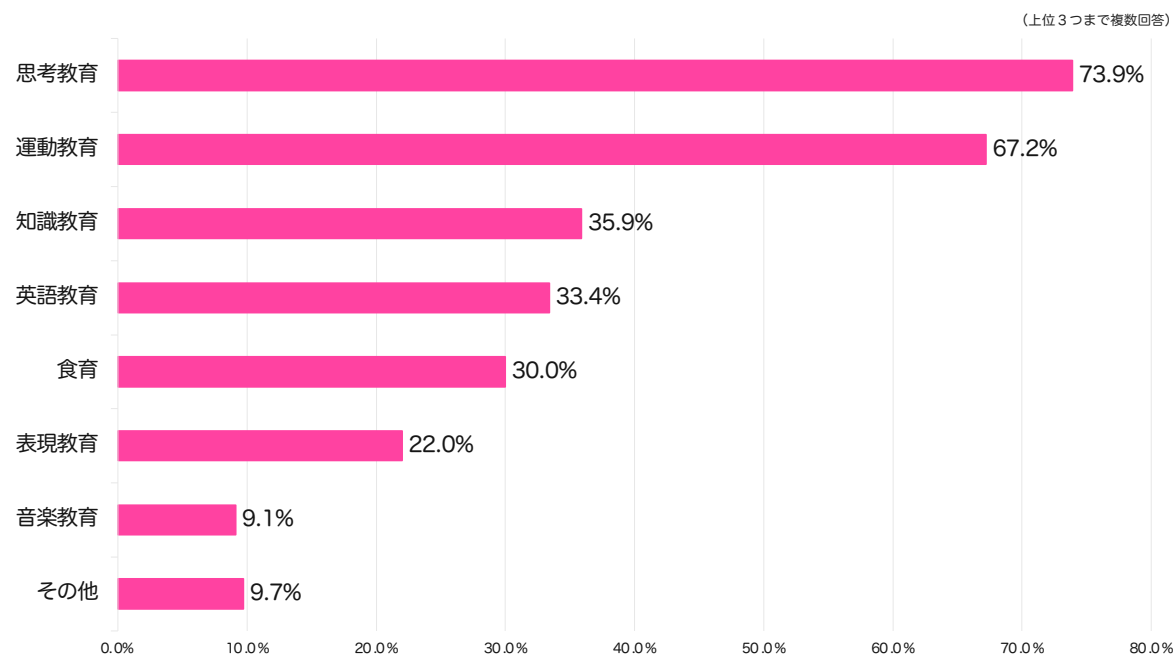
AIAI NURSERYの概況 保護者満足の高い取り組み

選ばれる保育園であり続けるため 入園説明会を積極的に開催するとともに 保護者のニーズも取り入れた多様な保育プログラムを展開。

AIAI PLUSでも提供する子どもの発達に効果的なプログラムも採用。

保護者ニーズに即したプログラム展開

説明会参加保護者アンケート 「入園を検討する上で特に重視する保育内容」 回答者の割合



*2022年AIAI NURSERY入園説明会参加保護者へのアンケート結果より

AIAI NURSERY導入プログラムの例



AIAI NURSERYの概況

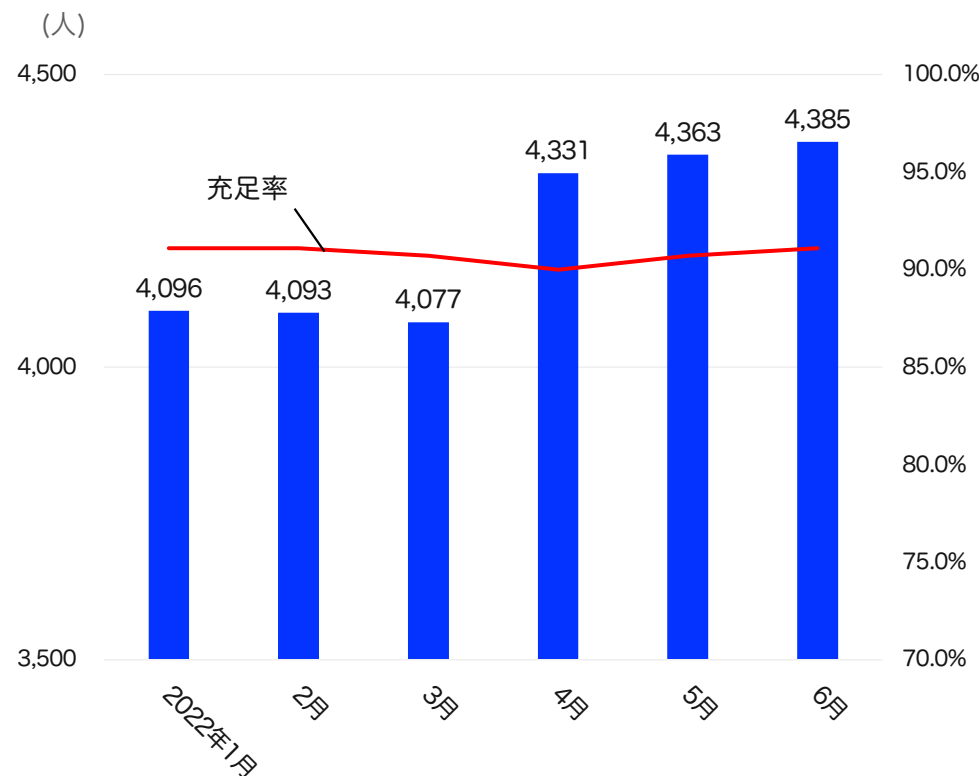
新規開園により定員数は増加したものの 既存施設の年数経過による3～5歳児の充足率の向上のほか 入園説明会等の積極的な開催により 充足率は90%以上を維持

園児数の状況

	2022年6月 在籍数(人)	充足率
0歳児	367	83%
1歳児	812	99%
2歳児	893	99%
3歳児	851	93%
4歳児	796	91%
5歳児	666	79%
合計	4,385	91%

* 小数点以下四捨五入

園児数及び充足率の推移



AIAI PLUSのビジネススキーム

少子化の局面でも発達障害児の数は増加が継続すると見込まれるなか 必要な支援を提供するためのスキームを整備
自治体補助により利用者は実質的に原則無償で利用できる

発達障害児の急増

背景に晩婚化

- ・ 早産
- ・ 高齢出産
- ・ 生殖補助医療（体外受精）

などによる発達障害児の増加^(※)

自治体による発達検査

- ・ 発達障害の認知
- ・ 受給者証の発行



児童発達支援事業所

AIAI PLUSへの通所



AIAI PLUS 90分プログラム

- ①運動プログラム
- ②思考プログラム
- ③微細運動プログラム
- ④視覚と認知のプログラム

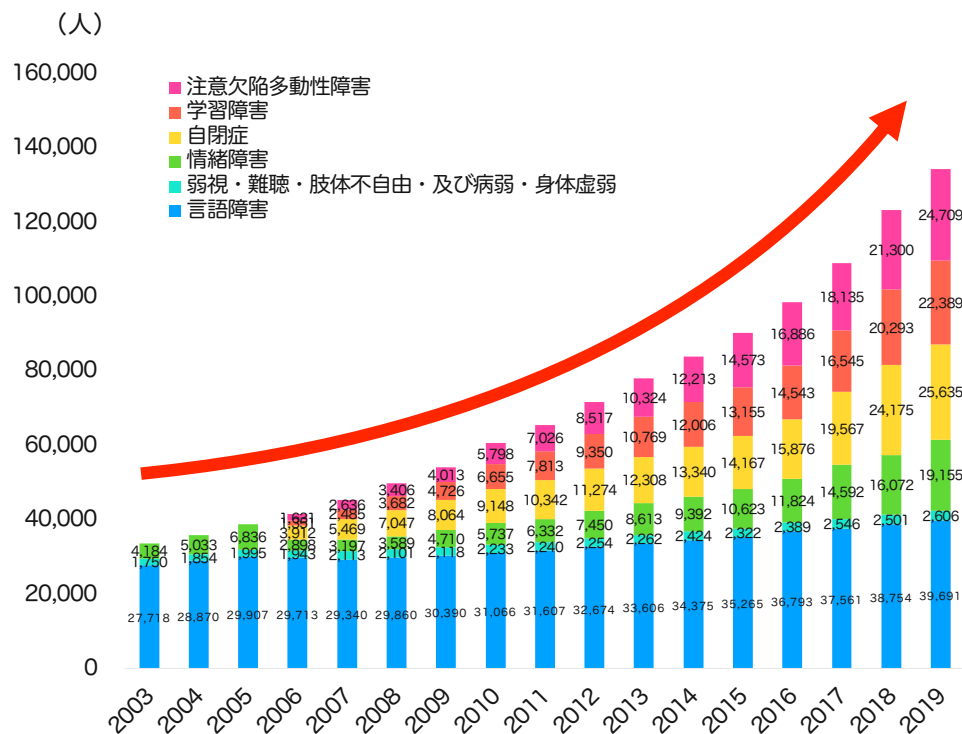
1回の通所で各20分を実施



* 「知的障害児の増加と出生時体重ならびに母年齢との関連」 （「厚生指標」第61巻第15号）および「生殖医療と発達障害の関連」 （日本生物学的精神医学会誌23巻3号）参照

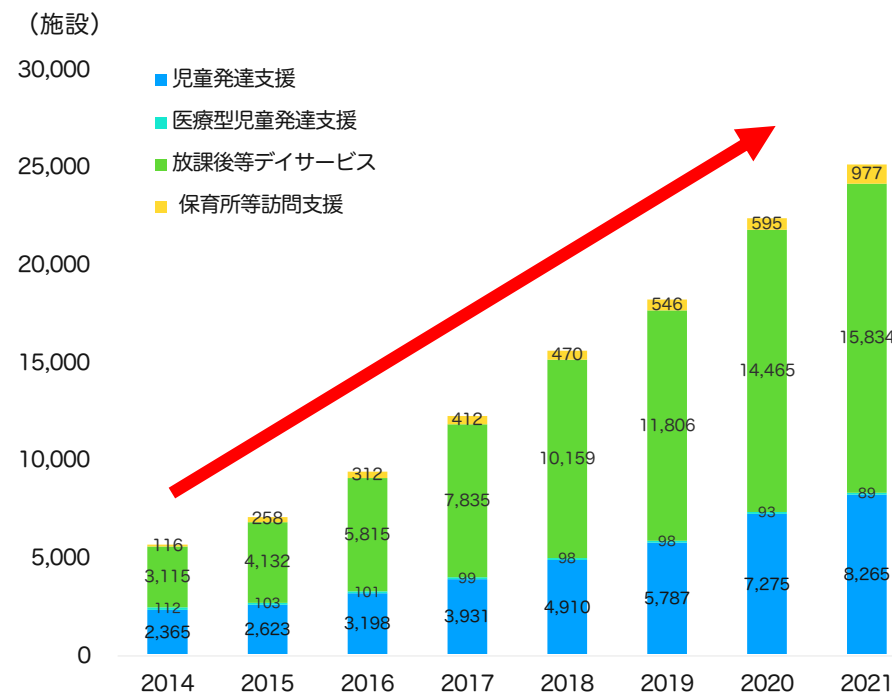
少子化の局面においても障害を抱える子どもの数は増加の一途を辿っており 2003年から2019年の間で約4倍に増加
 障害児施設数も障害児数の増加に伴い増加傾向にある

障害を抱える子どもの数の推移 (小・中・高校)



* 「特別教育支援資料 (令和元年度)」 (文部科学省) より出典

障害児施設数の推移



* 厚生労働白書より作成

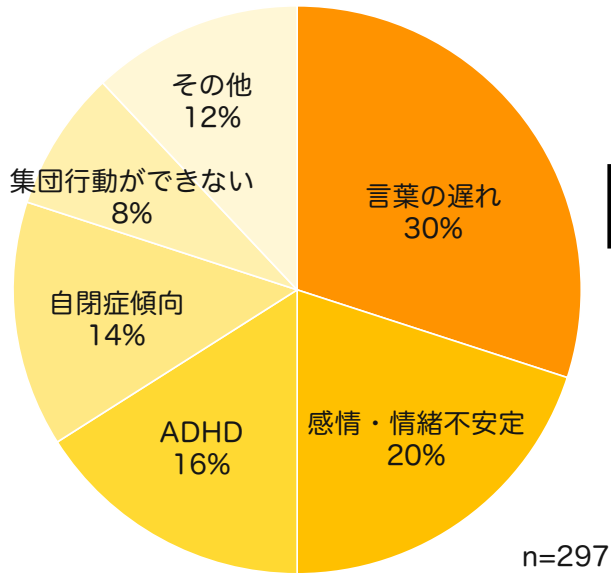
AIAI PLUSのプログラム設計と期待効果

AIAI PLUSでは 国立リハビリテーションセンターが掲げる「気になる行動と気づきのポイント」*も踏まえながら 保護者が期待する姿に近づくために最適なプログラム設計で子どもの発達をサポート

* 国立リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター
<http://www.rehab.go.jp/ddis/aware/nursery/child/>

AIAI PLUSに通う子どもの発達の特性

言葉の遅れ、感情・情緒不安定、発達障害傾向が 全体の80%を占める



AIAI PLUS

学習プログラム



運動プログラム

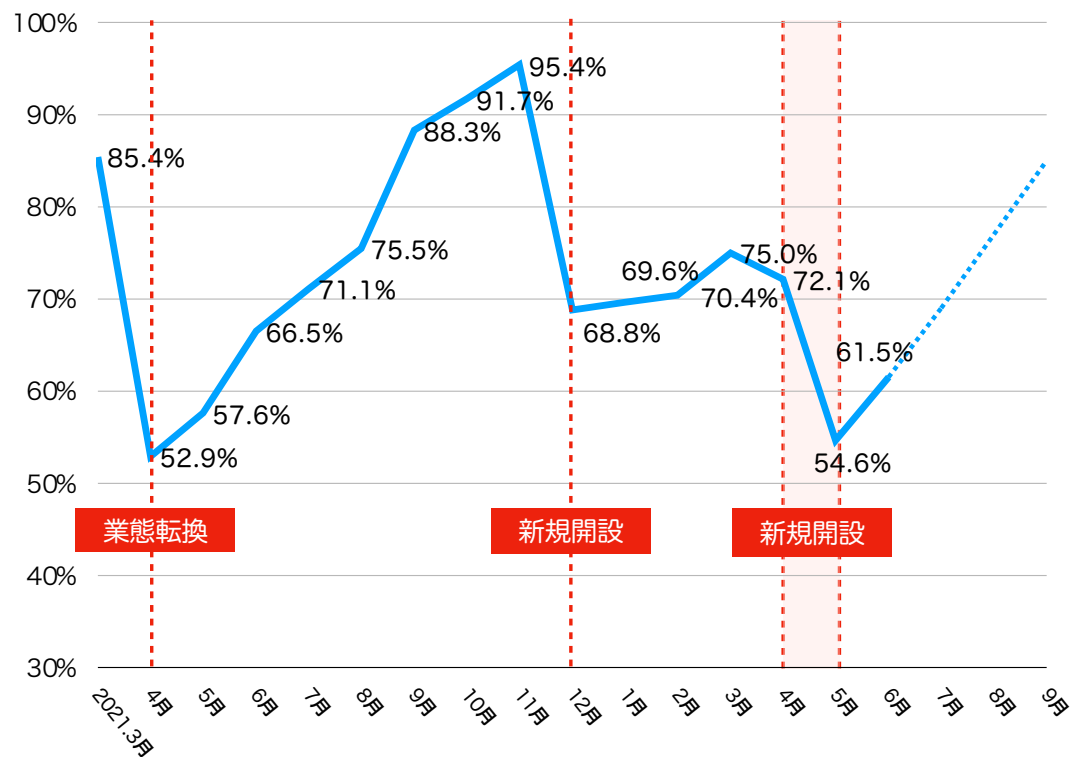


最適なプログラムを通じて 発達をサポート



AIAI PLUSの全施設平均稼働率は施設の新規施設時には一時的な落ち込みは発生するものの 開設後は向上が継続。
 施設の管理業務をオフィスで一元的に実施することにより 施設の業務負担を軽減し 業務の効率化も推進中。

平均稼働率の推移



さらなる収益力強化に向けた取り組み

稼働率を向上させるとともに、理学療法士や作業療法士の採用を強化し
より質の高いサービスを提供するとともに 報酬額の上積みを図る

* 厚生労働省「令和3年度障害福祉サービス等報酬改定における主な改定内容」

児童発達支援事業所（センター以外）の報酬等の見直し

- 児童発達支援事業所（センター以外）について、従業者の配置に対して一律に加算する「児童指導員等加配加算Ⅱ」を改め、**より手厚い支援を必要とする子どもに応じて、きめ細かい支援が可能となるよう、以下の加算に組み替える。**
 - ① 個別サポート加算Ⅰ：ケアニーズの高い児童（著しく重度および行動上の課題のある児童）への支援を評価
 - ② 個別サポート加算Ⅱ：虐待等の要保護児童等への支援について評価
 - ③ 専門的支援加算：専門的支援を必要とする児童のため専門職の評価（※）
- （※）理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理指導担当職員、国リハ視覚障害学科履修者、5年以上児童福祉事業に従事した保育士・児童指導員を常勤換算で1以上配置した場合に評価
- また、支援の質を向上させるための従業者要件の見直し（障害福祉サービス経験者を廃止）を行う。（経過措置有り）
- さらに、難聴児の早期支援に向けて、児童指導員等加配加算の対象資格に手話通訳士及び手話通訳者を追加。
- 基本報酬及び児童指導員等加配加算の単位数については、経営状況を踏まえ見直し。

現 行		見 直 し 後	
加算	1.理学療法士等 209単位 2.児童指導員等 155単位 3.その他 91単位	児童指導員等加配加算Ⅱ	100単位 125単位 ①個別サポート加算Ⅰ ②個別サポート加算Ⅱ ③個別サポート加算Ⅰ
	1.理学療法士等 209単位 2.児童指導員等 155単位 3.その他 91単位	児童指導員等加配加算Ⅰ	①個別サポート加算Ⅰ ②個別サポート加算Ⅱ ③個別サポート加算Ⅰ
	12単位	児童指導員等配置加算	①個別サポート加算Ⅰ ②個別サポート加算Ⅱ ③個別サポート加算Ⅰ
基準人員	(基本報酬) 830 単位	障害福祉サービス経験者	基準人員 (基本報酬) 885 単位
		保育士or児童指導員	
		児童発達支援管理責任者	
		管理者	
		保育士or児童指導員 ※障害福祉サービス経験者の経過措置有り(2年)	
		児童発達支援管理責任者	
		管理者	

※単位数は主に小学校就学前の障害児に対して支援を行う利用定員10名以下の場合を記載
※上記図の高さは単位数とは一致しない

■免責事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。

当社は、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としております。また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまなリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容につきまして、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開または利用することはご遠慮ください。